

新聞活用教育事業

新聞から学ぶ、未来をひらく力

問指導課☎0176-58-0183

市では、新聞を教育活動に活用し、児童・生徒の情報活用能力などの向上を図るとともに、将来の主権者として必要な社会的資質の基礎を養うため、市立小・中学校22校に全国紙１紙以上、地方紙２紙を配布しています。さらに、タブレット端末を活用した一部電子版の購読（ハイブリッド式購読）も行っています。今号では、紙面と電子版、どちらのよさも生かしながら積極的に新聞を活用している２校の児童・生徒と先生へのインタビューを紹介します。

法奥小学校



新聞の活用状況

・新聞を自由に読めるコーナーを廊下へ設置
・情報委員会の児童が、それぞれ気になった記事を集めて昼の放送で紹介
・国語などの学習で、タブレット端末を用いて、電子版から過去の記事を検索



《小笠原（おがさわら） 斗真（とうま） さん（５年）》

朝に天気予報を見て「マラソン走れるかな」と確認できるので、便利だなと感じています。国語で新聞の読み方を学習したので、これからは、他の面の記事にも目を通し、知識を増やしていきたいです。



《久保（くぼ） 穂垂（ほたる） さん（６年）》

委員会でお昼の放送をする時に、みんなが興味をもってくれるようなニュースや記事を探しています。また、子ども新聞には、全国の小学生の意見や情報も載っていて、同年代の人たちの思いに、いつも刺激を受けています。

《工藤（くどう） 卓弥（たくや） 先生》

さまざまな情報を、毎日、分かりやすく正確にまとめている新聞は、子どもたちにとって、一番の信頼のおける情報源であり、読み取る力をフルに発揮させるための最高の教材となっています。得た情報から「あなたはどう思う？」と、自分事として捉え、アウトプットできる子どもたちを育てるためにも、これからも新聞活用の機会を増やしていこうと思います。

甲東中学校



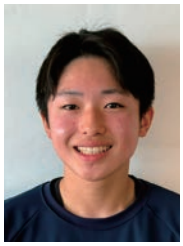
新聞の活用状況（一部）

電子版を活用し、自分の気になる新聞記事を紹介し合う週間を実施（年に数回）

▶内容　項目ごとに投票し、票が集まった生徒の紹介文を校内へ掲示

▶項目　一番興味をもった紹介文、最近の社会問題に目を向けていると思う紹介文、自分の考えや意見がしっかり書かれていると思う紹介文　など

「自分の気になる新聞記事を紹介し合う週間」に取り組んでみて



《向中野（むかいなかの） 叶聖（とあ） さん（１年）》

気になる記事を紹介し合い、みんな上手に感想や新聞の内容を書けていました。普段あまり新聞を読む機会がないので、朝活動の時間に新聞を読んでみて、日本にはさまざまな問題もあるけれど、うれしいこともあるのが分かりました。また、家にも新聞があるので、時間があるときに読んでみようと思いました。



《天間（てんま） 陽都（ひろと） さん（１年）》

普段新聞を読まないので、新聞を読むいい機会になったと思います。気になる記事を紹介し合い、みんなが新聞を読んで何を思っているのか分かり、同じ記事を紹介した人でも、それぞれの捉え方があると分かりました。これからも、進んで新聞を読んでみたいです。

《三上（みかみ） 祥子（しょうこ） 先生》

近年、家庭で新聞に触れる機会が減少してきているため、学校で直接新聞を読むことができるのはとても貴重でありがたいと感じています。特に、電子版の閲覧が可能であるため、一人一人が自分の興味のある記事や内容について読むことができたり、それぞれのペースで読むことができたりと、とても有効な方法となっていると感じています。